

山城しゅんいちを応援する会

しゅんいち通信
第27号

討議資料

2026年1月発行

発行:山城しゅんいちを応援する会

住所:坂城町上五明1248-2

TEL/FAX 0268-82-3955

mobile 090-1459-1066

mail yamashiro.shunichi@gmail.com



あなたとつくる みんなとつくる 未来の坂城



誰もが暮らしやすい社会を目指して

2026年がスタートしました。そして早1ヶ月が過ぎようとしています。

昨年は高市早苗さんが初の女性の首相となり、また首相が発した言葉「働いて働いて働いて働いて働いてまいります」が流行語大賞を受賞する等、歴史に残る1年になったと思います。

その首相の下、様々な施策が講じられ株価も過去最高となり、多くの方が首相の動向に期待しているように感じます。しかし、現代の日本社会が直面する問題は非常に多くあるのが実情です。今後どのようなようになっていくかは注視する必要があるでしょう。

昨年も書きましたが、今年はどんな年になるのでしょうか。

国内においてはコメ問題や熊被害等、様々な施策は講じているが解決に向かっていくのかが気になります。

一方、国外に目を向けると、依然としてウクライナやガザ等で戦争や紛争が解決する目途が立っていません。今年の秋にアメリカでは中間選挙が予定されています。選挙では戦争や紛争への対応姿勢も問われるとも言われています。

昨年は先の大戦から80年目の年を迎えました。トランプ大統領は「アメリカを再び偉大な国に」をスローガンにしています。つまりは自国第一主義を掲げているわけです。

現代社会においてすべきことは、社会を分断するような社会をつくるのではなく、連帯だとか協調のような社会であると思えます。

坂城町議会議員 山城峻一の町政報告

12月議会は12月1日から12月12日まで開催されました。主な内容は、坂城町乳幼児等支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(こども誰でも通園制度)の制定等を含む補正予算案を審議し、その一部が可決しました。

陳情等については「医療・介護分野の処遇改善と報酬引き上げを求める陳情」が提出され、所管の委員会、及び本会議でも賛成多数で可決となりました。また、議員有志が提出した「柏崎刈羽原発再稼働反対の意見書」については賛成少数により否決となりました。

なお、今議会では、空き家対策や農業振興について等、9名が多岐に渡る一般質問をしました。

山城しゅんいちウェブでも発信中!



FB



X(旧Twitter)



ブログ



HP

令和7年9月
議会会議録山城峻一
(やましろ・しゅんいち)

〈プロフィール〉

- 1983年9月13日生まれ
- 長野日本大学高等学校卒業、日本大学法学部法律学科、放送大学教養学部教養学科心理と教育コース卒業
- 現在、上田市内の放課後児童クラブの指定管理者などを行っている労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団職員として活動中
- ホームヘルパー2級、児童厚生員2級、放課後児童支援員認定資格、認定心理士、2017年認知症サポーター養成講座受講(真田児童館にて受講)
- 議員連盟等
長野県自然保育推進議員連盟
信州オーガニック議員連盟
ストップ気候危機!自治体議員による気候非常事態・共同宣言賛同議員
- 現在の役割
【町議会での役割】
社会文教常任委員会 委員長
議会運営委員会 委員
地域交通網対策特別委員会 委員
議会改革等特別委員会 委員
【各種議会等】
六ヶ郷用水組合議会 議員(監査委員)
水利常任委員会 委員

◇六ヶ郷用水組合議会視察研修◇

開催日：11月19日～20日

場所：新潟県上越市清里区 (有)グリーンファーム清里
新潟県長岡市栖吉町 次世代農業推進拠点 あぐらって長岡
長野県木島平村 木島平米ブランド研究会

内容：「営農面における課題解決のための先進地視察」

1泊2日の日程で新潟県上越市、長岡市、長野県木島平村の各所の視察をしてきました。

1日目の最初は(有)グリーンファーム清里を訪問しました。グリーンファーム清里の代表の保坂一八さんが中心となり、離農農家の受け皿として当法人を立ち上げ、(財)清里村農業担い手公社と当法人が一体的に運営することにより、地域の山間地の農地保全という社会的使命と経営体の独立採算を両立させています。

経営の多角化にも取り組み、ワインの製造販売や畜産の試験的導入等、耕作放棄地を活用し、様々な事業に挑戦し、農福連携の充実にも対応している話がありました。



グリーンファーム清里で収穫したお米をここで保管



収穫したお米はこちら

その後は長岡市のあぐらって長岡へ。

こちらは次世代農業推進拠点施設であるため、スマート農業機器について主にお話を聞くことが出来ました。

農業用ドローンやラジコン草刈り機、アシストスーツ、水位センサー等。私は初めて見るものが多く食い入るように担当者の話を聞かせて頂きました。一部の機器については子どもも体験可能ということで、子どもにとっても学びの場となることが分かりました。



あぐらって長岡で使用しているドローン



ピンク色に光っているハウスもあぐらって長岡が管理している施設です

2日目、今回の視察最後は木島平村。

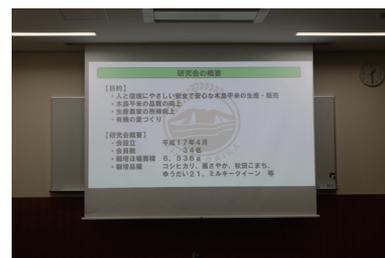
こちらでは長野県慣行基準と比較して農薬成分50%減、本田での窒素性化学肥料不使用の特別栽培に取り組んでいる生産者が「木島平米ブランド研究会」を作り、安心安全なお米を作るため栽培基準を統一し、「信州の環境にやさしい農産物認証」を取得しています。

化学肥料不使用、農薬50%以上減の特別栽培米の中から収穫直前に田んぼごとサンプル米を採取し、食味値をはじめ厳しい計測審査を行い、品質基準をクリアした田んぼから収穫したお米のみが「村長の太鼓判」として認定されています。ちなみに「村長の太鼓判」は木島平米(388ha)のうち1%(3ha)です。

なお、このお米が販売されているのは村内の道の駅等や売店、また東京都にあるアンテナショップ、オンラインショップであり、またふるさと納税返礼品として取り扱いがされています。



道の駅FARMUS木島平でも「村長の太鼓判」が販売中です



研究会の設立は今から20年前

今回、3ヶ所を視察して感じたことは3つあります。

1つ目は、今ある課題に向き合いながら、それぞれの創意工夫によりその課題解決に取り組んでいること。

2つ目は、官民との連携です。これからの時代、官(国や地方自治体)だけ、民(民間企業)だけでは課題解決は相当難しいと考えます。それぞれが持つ力の結集が不可欠であるかと。

3つ目は人材育成。3ヶ所共通していると感じたのはいわゆる「キーマン」がいるということです。現状を変えていくような人材をしっかり育てていけるかがカギとなるような気がします。

【訂正】
しゅんいち通信No.26 2ページの見出しに間違いがありました。読者の皆様にご迷惑をおかけしまして大変申し訳ございませんでした。下記の通り訂正致します。
【誤】総務産業常任委員会視察研修
↓
【正】社会文教常任委員会視察研修

◇「アドボカシー」について◇

12月13日、高校時代の友人から案内頂いた「全国子どもアドボカシー全国キャラバンin 長野」に参加させて頂きました。当日、児童クラブの勤務の都合上、途中からの参加となってしまいましたが、長野県内の市町村議会議員も多く参加していました。

この「アドボカシー」という言葉はあまり聞き馴染みのない言葉かもしれませんが、「アドボカシー」とは意見や考えを言えるようサポートすることであり、それをする人のことを「アドボケート」と呼びます。

昨今、子どもの権利について様々な場面で見聞きすることが多いかと思えます。この言葉に関連して、子どもの意見表明や意見の反映について度々触れられることがあります。子ども自身が自分の意見をしっかりと言えるかと言えば難しい場面があります。その際に大事になってくるのが「アドボカシー」であると思えます。

子どもの権利が少しずつ認知されてきたように感じる現在。この権利がより守られるためにアドボカシーについても多くの方に知ってもらい、子ども達が生きやすい社会の実現を目指していければと思っています。



←あゆこさん・作↑→

●地域からの一言●

人生には予期せぬことが突然起きるものですね。

つい先日、日頃自分の健康を過信していた報いを受けてしまいました。その夜、急な激痛(腹痛)に見舞われて、とうとう救急車をお願いしてしまいました。救急隊の方が症状を聞き、適切な処置をして頂き、病院に到着は11時過ぎでした。

4~5人の看護師さんやお医者さんが待っていて下さり、すぐ色々な検査をして原因や病名が分かり、そのまま10日間入院して無事に退院になりました。

初めてこのような事態を経験し、多くの医療従事者の方に助けて頂き、また、家族の協力にも感謝でいっぱいです。この経験を経て思うことがあります。医療従事者の方々は多くの病気の人を助けたいという高い志を持って職業に就き、人命を必死で守って下さっている最後の砦です。でも、その方々の待遇が低く、沢山の病院が赤字経営で苦しんでいることを知り心が痛みます。

人は誰でも健康で長生きを願うものです。この年齢になり、これからは色々な人に助けて頂かなくてはなりません。そのためには、日々の生活には気を付けて感謝の気持ちを持って生活していきたいと思っています。

NU



マウンテンキャッスル

～今年の目標～



コーナー名の由来……山城を英語にすると「山」は「Mountain(マウンテン)」「城」は「Castle(キャッスル)」からこの名前にしました。

はう  年も明けたので、今回のテーマは『今年の目標』です。

はう  私の今年の目標は、『頑張りすぎない』です。昨年は沢山仕事を頑張り過ぎて、好きなことをする気力が全然ありませんでした。なので今年は、好きなことをする元気も残しながらお仕事をしたいと思っています。

ぶぶ  今年の目標は、『挑戦』です。やっと今、色々安定してきて新しい年も迎えたことですので、私の中での『大人にしか出来ないこと』に挑戦したいなと思っています。まず始めに自分の車が欲しいという目標に向けて挑戦していきたいです。

はう   今年も、マウンテンキャッスルをよろしくお祈いします!

◇活動履歴◇

【10月】

- 3日 さかきものづくり展
- 4日 フードライブ(上田市)
- 5日 長野県協同フェスティバル(長野市)
- 7日 坂城男女共同みんなの会運営委員会
- 8日 大人からの挨拶運動
- 10日 社会文教常任委員会
- 11日 坂城幼稚園運動会
- 12日 村上保育園運動会
- 15日 女と男ふれあいさかき
2025実行委員会
- 17日 議会全員協議会
議会運営委員会
- 19日 上五明区参加体験型防災学習会
- 20日 六ヶ郷用水組合正副管理者会議
六ヶ郷用水組合議会全員協議会
六ヶ郷用水組合議会定例会
- 23日 村上小学校音楽会
- 25日 坂城町文化祭
令和7年度坂城町表彰式
令和7年度坂城町
文化協会高齢者功労表彰式
- 26日 坂城町文化祭
鉄道フェスタ in さかき
図書館まつり
- 27日 後援会報打ち合わせ(長野市)

【11月】

- 3日 現場調査
なかんじょ大根まつり
まちフェス
- 4日 長野県地方自治政策課題研修会(オンライン)
- 6日 坂城町戦没者追悼式
- 7日 議会全員協議会
- 9日 ねずみ大根まつり
- 12日 大人からの挨拶運動
- 13日 坂城男女共同みんなの会表彰式(坂城高校)
坂城男女共同みんなの会表彰式(坂城中学校)
- 14日 教育福祉研究会第1回研究会(オンライン)
- 15日 女と男ふれあいさかき2025
- 17日 後援会報打ち合わせ(長野市)
- 18日 議会全員協議会
- 19日 六ヶ郷用水組合議会視察研修
(上越市/長岡市)
- 20日 六ヶ郷用水組合議会視察研修(木島平村)
- 22日 第12回武志会マレットゴルフ大会反省会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 地域交通網対策特別委員会
坂城町介護保険運営協議会
- 28日 坂城町松くい虫対策会議
- 29日 長野の子ども白書ミートアップ
執筆者と読者の集い(塩尻市)

【12月】

- 1日 町議会定例会開会
社会文教常任委員会
- 2日 長野県議会傍聴(長野市)
- 5日 部落解放長野県民共闘会議(長野市)
- 6日 人権を育む町民集会
連合長野・長野地域協議会
第36回定期総会(長野市)
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
議会全員協議会
坂城男女共同みんなの会運営委員会
- 10日 一般質問
社会文教常任委員会
議会運営委員会
- 11日 社会文教常任委員会打ち合わせ
現場調査
- 12日 議会運営委員会
町議会定例会閉会
議会全員協議会
社会文教常任委員会
議会運営委員会
議会全員協議会
- 13日 全国こどもアドボカシー
全国キャラバン in 長野(安曇野市)
教育福祉研究会
第2回研究会(オンライン)
- 15日 後援会報打ち合わせ(長野市)
坂城男女共同みんなの会表彰式
- 16日 坂城町国民健康保険運営協議会
ひまわり会定例会
- 18日 長野県部落解放研究会(千曲市)
- 19日 社会文教常任委員会打ち合わせ
長野県自然保育連盟総会(オンライン)
- 22日 ウェルビーイング信州新しい風
第1回実行委員会

●若者からの一言●

【あき】新しい一年が始まりましたね😊

【山城】今年もどうぞ、しゅんいち通信、若者の一言をよろしく願い致します。

【かん】皆さん去年は漢字一文字で表すとどのような年でしたか？

【あき】自分は「験」です。

自分は仕事や趣味等で色々な所に移動していたので、色々な景色や経験を積んだ年になりました。

【かん】私は「界」です。

私は上京し、生活の世界が変わりました。

また経営者の方々からのお誘いでパーティーによく出席していたため、経験や出会いもありつつ、富豪や大人の知っていけない世界を知ってしまったような気がしています😊

色々境界を超えた年でした。

【山城】私の漢字一文字は「希」ですね。

【あき】それぞれ色々なことがありましたね。

【山城】今年こそ、世界中が平和であり、また希望あふれる年になりますように。そしてあき君、かんちゃんにはこれからも様々なことを経験し、さらに明るい社会をつくっていける大人になって欲しいと思っています！



山城の2025年の一文字

◆特急あさま◆

2026年春にしなの鉄道でも導入される予定のICカード乗車券『Suica(スイカ)』。

マスコットのペンギンの様に「スイスイ行けるから」と思いきや、実は正式名称は「Super Urban Intelligent CARD」の略で、それを果物のスイカにかけたとか。

これから1枚のカードで全国のJRや私鉄が利用出来、利便性の向上が期待出来ますね。

(大学の友人 倉地 大より)

